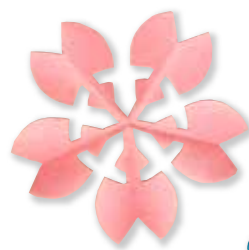




青森県野辺地町観光パンフレット



のへじ

人と、自然と、味めぐり。

歴史・文化・育む人々

そして自然と、旨いもの

めぐりどころ満載 野辺地町



野辺地町特別観光大使・じ〜の





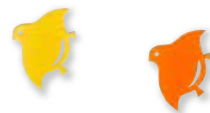
のへじ

人と、自然と、味めぐり。



復元北前型弁才船「みちのく丸」

復元北前型弁才船「みちのく丸」は、日本古来の和船の建造技術や歴史を後世に伝えるために、船大工16名によって建造された自走できる復元船。平成17年に完成し、北前船の一大寄港地として栄えた野辺地町へ、平成26年に寄贈されました。



野辺地町では、町を応援したいみなさまからの寄附金を「ふるさと納税」として活用し、6つの事業に取り組むこととしております。野辺地町で生まれ育ったあなた。ご両親などご家族が野辺地町に住んでいるあなた。野辺地町を訪れたことがあり、野辺地町をこよなく愛するあなた。野辺地町に縁があるあなた。豊かな自然、歴史と文化を大切に、活力と夢に満ちあふれた躍動感あるまちづくりを進める野辺地町に、ぜひあなたのご支援をお寄せください。

【寄附金の使い方】

1. 役場庁舎建設応援(役場庁舎建築)
2. 元気のへじっ子応援(教育)
3. のへじ力UP応援(スポーツ施設や町民福祉充実)
4. 歴史・文化応援(文化財保護と地域資源保存)
5. 「みちのく丸」応援(みちのく丸地域活性化基金)
6. 野辺地町応援

(上記6つ以外に使用してほしい方は、希望用途をお知らせください)

のへじ
ふるさと
納税

味自慢
の
お礼

ふるさと納税で15,000円以上ご寄附いただいた方へ、心ばかりのお礼の品を贈呈しております。ふるさとを思い出す懐かしい味、これまで知らなかった新しい味など、味自慢のお礼をお楽しみください。

詳しくは野辺地町ホームページをご覧ください。
<http://www.town.noheji.aomori.jp>

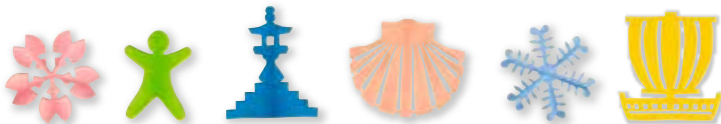
野辺地町特別観光大使 「じ〜の」です!

町内外で開催されるイベントや物産展等に積極的に参加して、野辺地町の観光、物産のPR特使として活躍しています。



町のシンボル常夜燈、町の花(ハマナス)、町の木(さくら)をあしらひ、町の鳥(カモメ)の服を身に纏ひ、町の特産ホタテのボシェット、葉つきこかぶの髪の毛という、町のシンボルが絶妙にまとまった可愛いデザインです。





歴史・文化・育む人々 そして自然と、旨いもの
めぐりどころ満載
野辺地町

目次	1
めぐりどころ 観光・眺望 のへじ・人	2・3
めぐりどころ 歴史・文化 のへじ・人	4・5
めぐりどころ 祭り・施設 のへじ・人	6・7
めぐりどころ 味・特産品 のへじ・人	8・9
めぐりどころ 味・特産品 のへじ・人	10・11
めぐりどころ 飲食店・宿泊施設一覧	12・13
めぐりどころ 歴史満喫おすすめスポット	14・15
めぐりどころ MAP	16・17

各ページでめぐりどころを紹介しています。
紹介番号を、16ページの地図に照らし合わせてお訪ねください。

- マップ上の番号
- マップ上の【縦列】の位置
- 分類カラー
- マップ上の【横列】の位置

5 F-3

野辺地町への
ガイド



愛宕公園 5 F-3

町民憩いのスポット。桜の景勝地として知られる
公園内には、石川啄木の歌碑や、松尾芭蕉、中市
絶壁の句碑があり、文学散歩も楽しめます。





おすすめの地場産の加工品を手に笑顔で歓迎

野辺地町観光の玄関、 私たちがお迎えします。

駅に隣接したインフォメーションターミナル
野辺地町観光物産PRセンター



能登谷 雅美さん(左) 野坂 貴子さん(右)
スタッフのみなさん

駅となりの観光PRセンターに入るとまず、展示している華やかな「のへじ祇園まつり」の山車に圧倒されます。

「野辺地町は下北の玄関口。ここから下北へ向かう見どころを紹介しています。四季それぞれに魅力のある観光ができるのはもちろんですが、町の歴史を知るともっと楽しめますよ。」と、スタッフの皆さんが温かな笑顔で出迎えてくれました。

まずは食文化に歴史ありと、古く北前船に由来する「かわらけつめい茶」を、町をあげて栽培しているとのこと。関連商品も数多く販売され、中でも茶葉を練り込んだ麺を使った「のへじ北前ラーメン」は今、町で一番のおすすめだとか。

単なる観光PRに収まらない、伝えられた「知恵」や「粋」を大切に、歴史を守り大事にする町づくりを目指している…そんな心意気を感じるお出迎えです。



野辺地町観光物産PRセンター 1 E-4

■開館時間/9:00~19:30(売店 9:00~17:00)
■休館/年末年始(要問合せ) ■P/有り・大型バス可
TEL.0175-64-9555
〒039-3153 上北郡野辺地町字中小中野17-17

めぐりどころ



観光・眺望

歴史・文化・育む人々 そして自然と、旨いもの

下北半島の玄関口、野辺地町。

江戸時代、湊町として栄えた歴史の名残は、
今も町のそこかしこにたたずみ、大切に伝えられています。

野辺地の自然は、夏の冷涼な風と、冬の豪雪。

厳しい風土は、同時に豊かな産物をもたらしてくれます。

土地ならではの季節の味覚を、よりよく生かす知恵と技。

ここを訪れたら、いろんな旨味を味わって、

そしてなにより、

陸奥湾に、両腕を広げて立地する地形のように、

広くてあったかい、野辺地の人に逢えますように。



冬の烏帽子岳
山頂に積もる雪が犬の姿に



頂上からの眺め

烏帽子岳 2 A-4

標高(719.6m)とともに変化する亜高山植物が多く見られ、頂上から望む360度の大パノラマは別世界。北は北海道・下北半島、南は八甲田連峰、東は太平洋、西は岩木山を望むことができます。そのほとんどは樹齢100年を超える天然林でおおわれており、勾配が緩く登りやすいので、家族での登山も楽しむことができます。キャロライン・ケネディ駐日米国大使も、烏帽子岳登山を楽しみました。



愛宕公園 5 F-3

町の高台に位置する愛宕公園。造設された明治期から、町民憩いの公園として親しまれてきました。約700本の桜の景勝地として知られ、石川啄木の歌碑や、松尾芭蕉、中市絶壁の句碑があり、文学散歩も楽しめます。

14ページ「歴史おすすめスポット」で詳しく紹介しています。



航海に、安堵の灯をともしてきた 常夜燈 3 E-2

江戸時代、野辺地湊は盛岡藩有数の商港で多くの北前船で賑わいをみせていました。船が安全に出入りできるよう1827年(文政10年)に野辺地の廻船問屋野村治三郎によって建てられました。現在は、北前船の寄港地として栄えた歴史を伝える町のシンボルです。



海辺の興隆を伝える江戸時代の絵図



復元された北前船「みちのく丸」の背に



日本最古の鉄道防雪原林 4 E-4 (鉄道記念物14号指定)

野辺地駅のホーム西側に2kmにわたって続く約700本の杉林。林学博士・本多静六氏の進言で明治期に植林されました。豪雪から町の線路を守り続けています。本多博士の出身地の埼玉県久喜市と野辺地町は、この縁で友好都市となっています。

ハッチョウトンボ生息地

(まかど温泉スキー場) 8 A-2

まかど温泉スキー場に生息する、日本一小さなトンボ。ノルディックコース内で、間近に観察することができます。観察できる時期は6月～8月まで。



ハッチョウトンボ(オス)



ハッチョウトンボ(メス)



のへじ海浜公園 6 F-2

砂浜から下北半島をのぞむことができる、遠浅で波も静かな開放的な海岸。温水シャワー、休憩所、トイレの他にキャンプ場も整備された本格的な海水浴場です。



国設野辺地まかど温泉スキー場 8 A-2

陸奥湾の大パノラマをのぞむ国設スキー場。海へ滑走するような壮快なコースは、初級者から上級者まで楽しめます。一汗かいた後は、隣接する温泉でゆったりと。



十符ヶ浦の碑 7 G-2

昔、スゲを使って「十符の菅簾」(数物の意味)を生産し、朝廷に献上したと伝えられています。以来、十符ヶ浦と呼ばれるようになったそうです。町制施行100周年を記念し平成9年8月に建立されました。



スキー発祥の地碑(スキー場内) 9 A-2

明治37年、スキーを知った豪商野村治三郎は、東京の丸善を通じスキー2台を試作させ、自ら滑ったといわれています。ここから野辺地町のスキーの歴史は始まりました。



歴史民俗資料館で展示されている「火事装束」を前に解説

昔を知れば知るほど、 今が見えてきます。

野辺地町歴史を語る会会長
野辺地町観光・史跡ボランティアガイド
鈴木 幹人さん



「正直、郷土史は最初、興味なかったんです。」と、開口一番に鈴木さん。

もともと、古代の「城柵じょうさく」（政治行政機能を持った軍事・防御施設）に興味があり、大学は史学科に進み古代史を専攻していました。地元へ帰り、日本史の教員になってからも野球部指導にのめり込む日々で、特に郷土史をひも解くことはなかったと言います。

そんな鈴木さんが、定年間近に声をかけられた「野辺地町歴史を語る会」の立ち上げをさかいに、今度は郷土史にどっぷりのめり込む事になるのです。

特に、現存している享保8年（1723年）の古文書「野辺地官所雜記」は、単身赴任で在任する代官役人の日常が事細かに綴られ、今も夢中なのだと。

「將軍吉宗の命で地図測量に訪れた役人を接待する大仕事から、何も無い日は日中から酒を飲んでいただけで書かれていて、当時の様子や人となり浮かび上がってきます。本当に面白いですよ。」

今に繋がる町の歴史を掘り起こし、次世代・特に若い人たちに伝えたいと、古文書研究はまだまだ続きます。



町の豪商だった野村治三郎
旧住宅離れ『行在所』にて



懇切丁寧な解説は、さすが元先生！

めぐりどころ



歴史・文化

野辺地町には、すでに先史時代から人々がこの地に住んでいたことが知られています。また、江戸時代から明治の初頭、豪商と呼ばれた地元の野村治三郎等の北前船が往来し、盛岡藩有数の商港として繁栄しました。こうした歴史を示す数々の資料が歴史民俗資料館や、町の史跡、社寺仏閣から探る事ができます。



赤漆塗木鉢（国指定重要文化財）

10 E-3

螺鈿装飾の漆器は向田（18）遺跡から出土した縄文時代前期（およそ5千5百年前）の木製鉢です。コナラをくりぬいて作った器の内外面に赤漆が塗られ、突起には小さな巻貝のふたをはりつけて装飾したあとが見られます。長径が42cmとこの時代の漆器では国内でも例をみない大きさです。



客船帳（町指定有形文化財）

10 E-3

江戸時代の野辺地湊からは盛岡藩の銅・大豆・絹しめ粕などが積み出され、塩・木綿・日用雑貨などを積んだ多くの船が入船していました。この客船帳は、船宿を営んでいた五十嵐家が扱った船を江戸時代から明治初期まで代々書き継いできたものです。野辺地湊には、どこから船が訪れていたか、どのような物資が運ばれてきたかなどを具体的に示す貴重な史料です。

歴史民俗資料館

10 E-3

縄文期、国内最大級の「板状立脚土偶」をはじめ、北前船の寄港地として栄えた頃の品々や藩政時代の資料などを展示しています。（音声ガイドが無料でご利用できます。）



■観覧料／小・中学生：無料、高・大学生：100円、一般：210円

※20名以上の団体は各半額、学校教育の一環としての観覧は無料

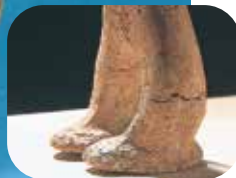
■開館時間／9:00～16:00 ■定休日／月曜日（祝日の場合はその翌日も）、祝日、年末年始

■P／有り・大型バス可

TEL.0175-64-9494

〒039-3131 青森県上北郡野辺地野辺地1-3





野辺地町の
歴史はここで



ひとり立ちする土偶 板状立脚土偶 (国指定重要文化財)

10 E-3

高さ32cm、縄文時代後期前半のものと考えられるこの土偶は、平成10年の発掘調査で黒色土の中から頭部・胴部・腰部・左脚・右脚の5つに割れた状態で出土しましたが、その後、欠けた部分がなく復元されました。土偶の上半身と下半身を上下逆転して置き、その上から縄文時代後期前半の深鉢形土器3個体が出土しました。この土器は附(ついたり)指定されています。

胴部を逆三角形につくる東北地方特有の板状土偶の形態をとり、これに短いながら前後に張り出した脚先を付した大型の立像土偶で、縄文時代後期における東北地方を代表する土偶として、造形的な特徴を良く示しています。

(土偶の出土した戸鳥井平4遺跡は、野辺地町市街地から東北方4.5kmのむつ湾に面した標高30mの海岸段丘上にあります。)



八幡宮本殿

金刀比羅宮本殿

野辺地八幡宮本殿と 金刀比羅宮本殿 (県重宝)

11 E-3

八幡宮本殿は1714年(正徳4年)の再建。また金刀比羅宮は海上安全の神である金比羅様(こんびらさま)が広く信仰されてきたことから野辺地の廻船問屋(かいせん とんや)によって1822年(文政5年)に勧請寄進(かんじょうきしん)されたものです。すぐれた彫刻が各所にみられます。



海中寺 木彫阿弥陀如来立像

12 F-3

木彫阿弥陀如来立像(県重宝) 浄土宗の寺院、福聚山海中寺の本尊です。装飾的な衣の表現から鎌倉時代の制作と推定されています。海中寺は文化14年(1817年)に火災にあい当初の本尊も焼失したことから、大阪伝光寺の道場に祀られていた本像を迎えたと伝えられています。(公開は3月19日～25日と11月6日～15日で見学希望者は事前に海中寺への申し込みが必要。)

TEL.0175-64-2605



旧野村家住宅離れ『行在所』 (国登録有形文化財・建造物)

13 F-3

現在の野辺地町役場敷地内にある行在所は野村治三郎の別邸で、1876年(明治9年)の明治天皇が巡幸された時に御宿泊されました。1890年(明治23年)の大火で焼失後に同一設計で再建されました。



祭り好きの「粋」を感じる 新道組 青年会のみなさん

地元の祭り・イベント、 私たちが盛り上げます。

のへじ祇園まつり 新道組 青年会会長
横山 信行さん(写真:前列左)



のへじ祇園まつりを支える数ある団体の中でも、若手主体の「新道組青年会」は、活動の広さからも異彩を放ち、注目を浴びています。

「今の青年会ができたのは、過去に存続の危機があったから」と、三代目会長横山さんは振り返ります。

新道会は平成18年、祭りのメインとも言える山車(やま)を制作する人形師の人手不足から、参加を危ぶまれる事態に。そこで、「毎年続けて出す事に意味がある!」と、若手が集まり総出で制作、なんとか参加にこぎつけました。これを機に、正式に青年会を立ち上げ、以来連続参加、3度の最優秀賞受賞を果たしています。

毎年、桜の頃には山車のイメージが固まり、本番に向けて6月から夜間の制作がスタート。祇園囃子を聞いて育った子どもたちが、自然に囃子に加わり、祭りのバトンも確実に繋がっています。

「祭りを楽しむキモチがあれば、誰でも歓迎!来るものは拒まず・・・みんなでワイワイ集まるのが好きだからね」と、横山さん。そんな会風に賛同してか、他の町会からの参加者も年々増えているとのこと。祇園まつりに限らず、子ども会のキャンプ・ボランティア活動、他の町会も巻き込んでの花見大会など、今では野辺地町全体の活性化にも繋がる視野の広いものになっています。

最優秀賞「出陣 川中島」



組の旗を掲げる二代目会長

めぐりどころ



祭り・施設

豪華絢爛な山車が練り歩く のへじ祇園まつり

「のへじ祇園まつり」は、8月の中旬に4日間行われる、野辺地町最大のお祭りです。京都祇園まつりに似た優雅な囃子と山車は、南部藩有数の商港として栄えた時代に北前船に乗って移入されました。

二階層造りの山車(やま)の一階には、艶やかに着飾った稚児が奏でる優雅な祇園囃子、二階には歌舞伎や古事を題材とした豪華絢爛な人形山車が彩ります。

祭り初日は、長さ11m・重さ400貫の大しめ縄を八幡宮に奉納する「しめあげ」をかわきりに、2日目と4日目には、山車の合同運行が行われ、3日目は、海で栄えた野辺地ならではの船の大パレード「海上渡御」が開催され、町は祭り一色となります。



町の基盤を築いてきた「海」をテーマに賑やかに のへじ常夜燈フェスタ

3 E-2

7月下旬に、野辺地湾が目の前に広がるのへじ潮騒公園で開催される「のへじ常夜燈フェスタ」は、毎年大勢の参加者でにぎわいます。模擬屋台村や、特産品コーナーが設けられるほか、ステージショーなど、大人から子どもまで楽しめます。





のへじ祇園まつり 海上渡御

のへじ祇園まつりの中日に野辺地湾で行われる、船の海上大パレード。御神輿を先頭に各町の町印と神楽が続ぎ、その後に大漁旗や吹き流しで鮮やかに飾り付けた漁船が航行し、祭りを盛り上げます。



のへじ春まつり (愛宕公園)

5 F-3

桜の開花時期に合わせて催される「のへじ春まつり」。会期中、ホタテ駅伝大会、観桜会などイベントも盛りだくさん。また夜には、町のシンボル常夜燈を模った灯籠でライトアップした夜桜が楽しめます。



のへじ春まつり ホタテ駅伝

桜の咲く中、開催される「ホタテ駅伝」は、小学生の部から一般・高校の部まで、町内外からのエントリーが年々増えています。参加賞はもちろん「ホタテ」です。

お祭り・各種イベント お問い合わせ先

■のへじ祇園まつり
■のへじ春まつり
(一財)野辺地町観光協会
TEL.0175-64-9555
<http://www.noheji-kankou.com/>

お待ちしています!



■のへじ常夜燈フェスタ
野辺地町地域戦略課
TEL.0175-64-2111
<http://www.town.noheji.aomori.jp>



おすすめ 施設



柴崎地区 健康レクリエーション施設

14 A-1

「むつ湾を眼下に望む抜群のロケーション。宿泊研修施設「森林総合センター」や、キャンプ場やバンガロー、パークゴルフ場のほか、多目的に利用できる「拓心館」などの施設が整備されています。
■利用期間/4月下旬～10月(冬期間は閉鎖) ■P/有り・大型バス可
TEL.0175-64-7952
森林総合センター 青森県上北郡野辺地町字柴崎10-5



まかど観光ホテル (旧まかど温泉ホテル)

15 A-2

義経や弁慶も湯浴みをしたという名湯馬門温泉の一軒宿。緑の山々とオーシャンビューの眺望が自慢。
■ご予約・お問い合わせ
TEL.0175-64-3131
まかど観光ホテル
青森県上北郡野辺地町字湯沢9



葉つきこかぶ生産者
村山 淳一夫妻

収穫期は母親と夫婦、
村山家総出で作業

安心安全をモットーに

野辺地町で「葉つきこかぶ」の生産を始めて18年になる村山さんは、もともと自動車関係のエンジニア。東京からのUターンを期に地元での自社設立を計画していましたが、他界した父親の後を継ぎ、農業の道に入りました。「葉つきこかぶ」は、夏場の「やませ」による冷涼な気候が成長に合うため、30年程前から野辺地で生産されるようになりました。5月から10月までの間、種蒔きから約40日後に収穫する作業を、次々と繰り返します。鮮度を保つため、収穫は毎日深夜2時から。この睡眠不足の苦勞があって、真っ白でみずみずしいままの「葉つきこかぶ」が店頭に並ぶのです。さらに村山さんは、「消費者に安心・安全なものを届けたい」と、土作りにこだわり、減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいます。「うちのこかぶは本当にうまい。まず、自分たちがいいと思ったものを消費者に届けるのが第一。そしてこの先、計画的に規模を拡大していった盛んになれば、雇用も増えて若い人たちが興味を持ってくれる。」将来の地域農業の担い手として、村山さんの夢は着実に広がっています。



親子三代で漁師を営む
吉田 東(あずま)さん



野辺地特産ちまきほたてなど、活きの良い魚介類が水揚げされる漁協

漁の面白さを、若い人たちに

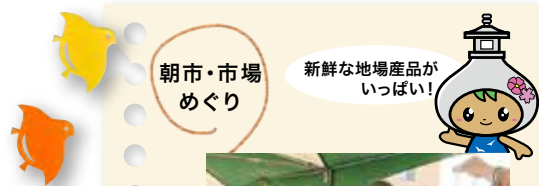
陸奥湾有数の漁獲量を誇り、町の基幹産業となっている野辺地漁業。歴史は古く、江戸時代には本州最北の商港として栄えました。そんな野辺地漁協で、今日もホタテ、ナマコの水揚げに励む吉田さん。家は、祖父、父、東さんと、三代続く漁師一家です。魚船に乗る前は、自衛隊経験もあったそうですが、この世界に入り7年目を迎え、「漁の面白さは、やればやった分返ってくる。今は手応えを感じている。」と言います。後継者が少なく、漁業従事者が高齢化している現状には、「今、自分と同じ若い人みんなで漁業を引っ張っていかないと。そのために、漁の面白さ、魅力を知ってもらいたい。だからどこにでも出て行ってアピールしています。」と、頼もしい答えが。未来を見据えた、漁業を支える若い力となっています。



めぐりどころ

味・特産品

豊富な海の幸、冷涼な気候が育てる畑の幸、歴史が伝えた郷土の味。野辺地町は、美味しいものが四季を通して1年中満喫できます。自慢のホタテはもちろん、葉つきこかぶや長いもなど。漁師さん、農家さんの顔が浮かぶ美味しさです。とれたてをぜひ味わってみて。



朝市・市場
めぐり

新鮮な地場産品が
いっぱい!



朝市会場

常夜燈公園 朝市会場 45E-2

毎月の土曜日に常夜燈公園となり漁協で
開催されています。

■のへじ常夜燈朝市

活ほたて、アワビ、ナマコなど獲れたての新鮮な
魚貝を、売切れ御免で直売。ぜひ足を運んでみて。
開催日をホームページで案内しています。

<http://www.noheji-kankou.com/>
のへじ常夜燈朝市活性化協議会

TEL.0175-64-9555

〒039-3141 野辺地町字中小野17-17



長いも

46 E-3

タンパク質、ミネラル、ビタミンが豊富。シャキシャキとした歯ごたえと粘り、肉質が柔らかくアクがないのが特徴です。生でも、煮ても、揚げても美味しくいただけます。



野辺地 葉つきこかぶ

46 E-3

皮が薄く手で簡単にむくことができるので、穫れたてをそのまま生で食べられます。実は柔らかく、フルーツのような甘味! サラダ・浅漬け、はもちろん、葉や皮は炒め物に。



河原決明

かわらけつめい茶

北前船で上方から伝えられたとされる、かわらけつめいを焙じて作る「けつめい茶」は、葉草茶として昔から愛飲されています。けつめい茶で炊いた「茶がゆ」や、茶葉を素材に加えた麺やお菓子も作られています。



いもがし

52 F-3

香りの良い桂皮末をまぶしたひとつひとつ手作りのいもがし和菓子・洋菓子 別当庵(佐藤製菓)
TEL.0175-64-2616
野辺地町字野辺地8-1

おすすめ加工品



小向納豆店

長寿の友 野辺地納豆

やわらかで風味のよい納豆本来の旨味

TEL.0175-64-2844



野辺地 葉つきこかぶのカルパッチョソース

すりおろしたかぶと皮のみじん切りを入れ独特の食感に。ホタテやサラダに良く合います。



野辺地町商工会

TEL.0175-64-2164

あぐりハウス「すずな」

46 E-3

野辺地産こかぶなど新鮮な野菜を安価、安全、安心をモットーに販売しています。

農産物・海産物

- ・こかぶ(6月～11月)
- ・長芋(11月～5月)など各種野菜
- ・各種乾物類

加工品

- ・草餅 ・かわらけつめい茶
- ・けつめい茶ドーナツ
- ・葉つきこかぶのカルパッチョソース

イベント

- ・オープン記念日(5月1日/要問合せ)
- ・お盆の売り出し(8月11日～13日)
- ・りんご即売会(12月1日/要問合せ)

TEL.0175-64-5178

〒039-3131 北野辺地町字野辺地1-5



あぐりハウス「すずな」



郷土料理

上方の食文化が移入され、京風料理が膳として定着しました。ふるさとの味として今でも多くの家庭に受け継がれています。野辺地町では、年1回「郷土の味を楽しむ会」が開催されています。

郷土料理取扱店

2日前までの予約が必要です。

松浦食堂 22 E-4

TEL.0175-64-3004

野辺地町字上小中野39-7

松山旅館 1 E-4

TEL.0175-64-4996

野辺地町字中小中野39-2

野辺地に伝わる精進料理

(写真は松浦食堂「茶粥定食」です。)



旅館コマイ 2 E-4

TEL.0175-64-3181

野辺地町字上小中野39-14

野辺地町に伝わる主な郷土料理



茶がゆ(チャゲツコ)

かわらけつめい茶で炊いたおかゆ



煮合え(ニエッコ)

豆腐と大根など野菜の煮合え



寄せ豆腐

昆布としいたけの出し汁にしょうゆと片栗粉でとろみをつけた寄せ豆腐



けいらん

あんを包んだ餅とそうめんのすまし汁



精進うなぎ

豆腐をうなぎに見立てのりを巻いた揚げ物



菊のサラッコ

青森県産食用菊とクルミの和え物



お店に入ると、やさしい笑顔で出迎えてくれます。

お店の中は、 私のギャラリーです。

駅前の食堂を切り盛りするかたわら、
絵筆を握る日曜画家

坂本 よし子さん



駅前で「さかもと食堂」を営む坂本さん。昭和45年、人の往来の多い野辺地駅前に住んでいたことから、自宅で食堂を始めました。独学で始めたラーメンは口コミで広がり、今も“おふくろの味”を慕って多くの人がのれんをくぐります。

そんな坂本さんが60歳を過ぎて、手に取ったのがなんと絵筆。週に1度、町主催の絵画教室に通い、今度は画材で腕を振るうことになります。

絵の題材は四季の風景、身の周りにある静物、そして、今も昨日の事のように思い出される幼い頃の出来事。懐かしい昔の日常を描いた作品は、町の貴重な記録だと話題を呼び、展覧会の開催や、「ちょっと昔の話」という本にもなりました。

「小さい頃から絵は好きだったけど、家の仕事の手伝いもあって美術の道には進めなかったの。だから今、美術部に入っているみたいで・・・7年生かな。」と、笑顔で語る坂本さん。店内は、見事な油彩・水彩画が所狭しと飾られ、さながら小さなギャラリーのようです。



あったかいタッチの「ちょっと昔の話」
原画は観光PRセンターで展示中。

めぐりどころ



のへじ北前ラーメン 取扱店

野辺地特産「かわらけつめい」を
粉末にして麺生地に練り込み、
ホタテと鶏チャーシューを加えた
「のへじ北前ラーメン」。
各店ならではの、こだわりの味を
ぜひ食べ比べてみて！



名物とりめし弁当にちなんで
「鶏チャーシュー」をのせました。



ファミリー食堂

39 D-2

海鮮だしが引き立つ、塩と醤油半々仕立て。
豊富な具と、白ごまの香りがうれしい！

- 営業時間／10:00～20:00
 - 定休日／毎週木曜日
 - 収容人数／50人 P／有り・大型バス可
- TEL.0175-64-1849**
野辺地町字下御手洗瀬10-2

サロン食堂

40 F-3

深い旨味の魚介だし。お寿司屋さんならではの
新鮮な具材を贅沢にトッピング。

- 営業時間／12:00～14:00
17:00～22:00(日～木曜)
17:00～23:00(金・土曜)
 - 定休日／不定休
 - 収容人数／20人 P／4台
- TEL.0175-64-3033**
野辺地町石神裏1-9



さかもと食堂

43 E-4

風味豊かな醤油・塩仕立て。
季節の青菜が彩り良く、目にも鮮やか。

- 営業時間／9:30～19:00
 - 定休日／毎週日曜日
 - 収容人数／20人 P／2台
- TEL.0175-64-3818**
野辺地町字上小中野38-17

のへじ駅前カフェ 北前茶屋

44 E-4

魚介だしを効かせた地元醤油がベース。

- 営業時間／10:00～18:00
 - 定休日／年末年始(要問合せ)
 - 収容人数／20人 P／有り・大型バス可
- 野辺地町字中中小野17-17
野辺地町観光物産PRセンター内



ラーメンハウス めんめん

41 E-3

塩ベースであっさりとしながらもホタテの
旨味が効いている。しかもトッピングも豊富。

- 営業時間／11:00～15:00
 - 定休日／毎週日曜日
 - 収容人数／25人 P／有り・大型バス可
- TEL.0175-73-7666**
野辺地町字白岩1-9



かわらけつめい

かわらけつめいはマメ科の一年草。緑の葉に黄色い花をつけ、全草がお茶になります。決明(けつめい)とは、薬草エビスグサの中国名。疲労回復に効果があるといわれています。

お土産に
どうぞ!



河原決明 かわらけつめい茶商品 取扱店

下記の各店で番号の商品を販売しています。

- 3 のへじ北前うどん・そば**
かわらけつめい茶入り乾麺
つるつとした食感で温めても
冷やしても美味しい



郷土料理・お弁当(10個以上から)
は2日前まで予約が必要です。

- 8 郷土料理**
野辺地に伝わる精進料理
(写真は松浦食堂「茶粥定食」です。)



- 9 野辺地漬の旦那衆
おにぎり弁当**
かわらけつめい茶で炊いた
ボリューム満点のおにぎり



- 10 野辺地漬の旦那衆
弁当**
町の特産品が満載の郷土
料理弁当



- 1 煎りけつめい茶**
ほうじ茶に似た
香ばしいお茶



- 4 超こくつゆ**
かわらけつめい茶入り
手作りのつゆ



- 2 かわらけつめい茶**
使いやすい
小分けパック入り



- 5 のへじの四季**
かわらけつめい茶とりんごを
ガレット生地の中に



- 11 かわらけつめい茶あいす**
かわらけつめい茶が入った
濃厚なアイスクリーム。
芳ばしい香りがお口の中で
広がります。



- 6 ジャステラ**
かわらけつめい茶を入れた
ふわふわのスポンジケーキ

- 7 かわらけつめい茶入りパン・スイーツ**
かわらけつめい茶入り
香ばしいドーナツ・
マドレーヌ・スコーン・
食パン・フランスパン



口当たりなめらか
プリン



- 8 松山旅館** **1 E-4**

■2日前までの要予約 ■定休日/無休
TEL.0175-64-4996
野辺地町字中小野39-2

- 8 旅館コマイ** **2 E-4**

■2日前までの要予約 ■定休日/無休
TEL.0175-64-3181
野辺地町字上小中野39-14

- 2 松浦食堂** **22 E-4**

■営業時間/11:00~19:00 ■定休日/毎週日曜日
TEL.0175-64-3004
野辺地町字上小中野39-7
※自家製かわらけつめい茶を販売しています。

- 3 パン工房 ビリオン** **47 E-3**

■営業時間/7:00~19:00 ■定休日/毎週日曜日
TEL.0175-64-9613
野辺地町字前田18-1

- 5 (有)大湊屋製菓** **48 F-3**

■営業時間/8:00~20:00 ■定休日/無休
TEL.0175-64-2451
野辺地町字野辺地22-3

- 2 お茶の野呂商店** **49 E-3**

■営業時間/7:00~19:00 ■定休日/無休
TEL.0175-64-3933
野辺地町字野辺地288-7

- 4 ヤマサン野坂味噌・醤油店** **50 F-3**

■営業時間/8:00~17:00(予約) ■定休日/日曜日
TEL.0175-64-2437
野辺地町字野辺地38-2

- 6 むらなか製菓** **51 E-4**

■営業時間/9:00~18:30 ■定休日/不定休
TEL.0175-64-7353
野辺地町字鳴沢27-43

- 1 あぐりハウスすずな** **46 E-3**

■営業時間/5月~11月 7:30~17:00
12月~4月 8:30~17:00 (日・祝日は15:00まで)
■定休日/5月~11月 無休 12月~4月 日・祝日
TEL.0175-64-5178
野辺地町字野辺地1-5

- 2 6 野辺地町観光物産PRセンター** **1 E-4**

売店部
■営業時間/9:00~17:00 ■休館/年末年始(要問合せ)
TEL.0175-64-0798
野辺地町字中小野17-17

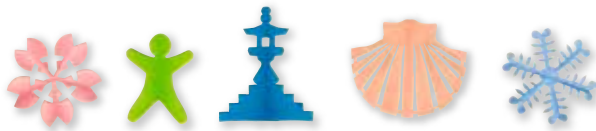
- 11 のへじ北前ラーメン・かわらけつめい商品の詳細、
ご予約はこちらまでお問い合わせ下さい。**

- 11 洋食居酒屋 おがわ** **12 F-3**

■営業時間/17:30~25:00 ※週末は25:30まで
■定休日/毎週月曜日
TEL.0175-64-6644
野辺地町字野辺地170-1

- 11 GARDEN CAFE (ガーデンカフェ)** **30 F-3**

■営業時間/10:00~19:00 (ラストオーダー18:30)
■定休日/毎週日曜日
TEL.0175-64-2422
野辺地町字野辺地162-1 泉山会館1階



めぐりどころ 飲食店一覧

のへじ、ぐるっとめぐって眺めて食べて 海の幸、山の幸をたっぷりと、味どころの数々。

松山旅館

1 E-4

ホタテづくし2,000円がおすすめです。(ランチは予約によりたまります。)

■営業時間/24時間営業 ■定休日/無休
■収容人数/100人 P/25台・大型バス可

TEL.0175-64-4996

野辺地町字中小中野39-2

旅館コマイ

2 E-4

予約により、のへじ郷土料理、けいらん、寄せトーフ、茶粥を作ります。

■営業時間/7:00~20:00(予約) ■定休日/無休
■収容人数/50人 P/有り・大型バス可

TEL.0175-64-3181

野辺地町字上小中野39-14

みや寿し

3 F-3

生ウニ・アワビ・ホタテなど、新鮮な野辺地産寿しネタを取り揃えています。

■営業時間/17:00~23:00 ■定休日/第1、3月曜日
■収容人数/38人 P/4台

※昼の会食・出前、予約受けます。

TEL.0175-64-2631

野辺地町字石神裏3-1

寿司・和食処 華仙

4 F-3

旬の食材を豊富に取り揃えています。

■営業時間/11:30~13:30 17:00~23:00
■定休日/毎週日曜日 ■収容人数/46人 P/4台

TEL.0175-64-7158

野辺地町字赤坂5-80

寿司割烹 海幸

5 F-3

2時間飲み放題+料理6品で一人様5,000円の宴会プランもあります。

■営業時間/11:30~13:30 17:00~22:00 ■定休日/毎週日曜日 ■収容人数/45人 P/8台・大型バス可

TEL.0175-64-4765

野辺地町字野辺地155-1

蔦屋

6 E-4

ホタテ本場につき、ホタテ料理が各種あります。

■営業時間/11:00~21:00 ■定休日/毎週月曜日
■収容人数/50人 P/5台・大型近く有料あり

TEL.0175-64-1111

野辺地町字上小中野39-19

和み処 ままや

7 F-3

旬の食材で手作り・やさしい家庭の味を低価格で!!

■営業時間/17:30~22:00
■定休日/毎週水・日曜日
■収容人数/15人 P/8台

TEL.0175-64-6823

野辺地町字野辺地216-4

楽食ダイニング つば八 のへじ店

8 E-3

刺身五品盛り、チキンみそチーズ焼きがおすすめ!

■営業時間/17:00~24:00 ※日・祭日 23:00閉店
■定休日/年中無休 ■収容人数/85人 P/10台

TEL.0175-64-3578

野辺地町字野辺地316-1

大衆割烹 千代

9 F-3

沖縄料理が味わえる居酒屋です。

■営業時間/17:00~1:00 (ラストオーダー12:30)

■定休日/毎週火曜日
■収容人数/65人 P/7台・大型有料

TEL.0175-64-1805

野辺地町字助佐小路5-27

ラーメン居酒屋 松竹

10 F-3

ラーメンはもちろん、すべて手作りの餃子がおすすめ! 松竹餃子、エビ餃子、しそ餃子、色々あります。

■営業時間/19:00~2:00 ■定休日/毎週日曜日
■収容人数/20人 P/無し

TEL.0175-64-3832

野辺地町字赤坂52-2

居酒屋割烹 はなたつ

11 F-3

季節により、ふぐ・すっぽん・シャモロック料理あり! 町内では珍しいやきとん(豚)の串焼を各種揃えています。

■営業時間/17:00~23:30 ※昼の予約可。
■定休日/無休 ■収容人数/21人 P/3台

TEL.0175-64-0005

野辺地町字赤坂54-1 銀座館1F

洋風居酒屋 おがわ

12 F-3

メニューが豊富で低価格!!小宴会承ります。

■営業時間/平日 17:30~25:00(ラストオーダー24:30)
金・土 17:30~25:30(ラストオーダー25:00)

■定休日/毎週月曜日 ■収容人数/30人 P/有り

TEL.0175-64-6644

野辺地町字野辺地170-1

しょくじ房 おおにし

13 F-3

季節の食材にこだわり、県産の魚介類など、野菜は自家栽培で無農薬。野菜を多く使った創作料理など。

■営業時間/17:00~23:00 ■定休日/毎週日曜日
■収容人数/24人 P/3台 ※予約で日曜日も営業可

TEL.0175-64-7110

野辺地町字野辺地168-1

花梨

14 E-5

ハンバーグ、スパゲティ、美味しいコーヒーがおすすめです。

■営業時間/10:00~21:00 ■定休日/不定休
■収容人数/50人 P/20台

TEL.0175-64-7550

野辺地町松ノ木平木26-8

焼肉専門店 大同江

15 F-3

本格的な韓国料理が気軽に楽しめる焼肉専門店。

■営業時間/17:00~26:00 ■定休日/無休
■収容人数/42人 P/6台

TEL.0175-64-3929

野辺地町字石神裏6-27

炭火焼肉 大番

16 F-3

地元の野菜、天間ののんにくで作ったタレ、ドレッシング、スープ等身体にやさしいメニューです。

■営業時間/17:00~23:00 ■定休日/毎週月曜日
■収容人数/76人 P/22台

TEL.0175-64-1822

野辺地町字野辺地158-1

れすとらん常夜燈・ らーめん処 麵道蘭

17 G-2

むつ湾産のほたて貝を使った料理全般。かつ飛びラーメンは、県内で2番目に美味しいラーメン!

■営業時間/11:00~15:00 ■定休日/毎週水曜日
■収容人数/60人 P/70台・大型バス可

TEL.0175-64-0007

野辺地町字干草橋64-2

かつ亭

18 F-3

国産の豚肉使用手作りカツがおすすめです。

■営業時間/11:30~21:00 ■定休日/毎週日曜日
■収容人数/15人 P/4台

TEL.0175-64-1895

野辺地町字野辺地6-2

一秋

19 F-3

女性一人でも気軽に入れる店です。

■営業時間/11:00~14:00 17:00~21:00(ラストオーダー20:30) ■定休日/毎週土曜日

■収容人数/22人 P/5台

TEL.0175-64-2767

野辺地町字野辺地193-1

お食事処 桂月

20 E-3

メニューにないお料理は、ご予約たまります。

■営業時間/12:00~22:00 ■定休日/年中無休
※時間外の予約承ります。

■収容人数/50人 P/有り・大型バス可

TEL.0175-64-6255

野辺地町字野辺地285-3

らーめん 大龍 野辺地店

21 E-3

炭焼チャーシューメン・とろけるチャーシューメンがおすすめです!

■営業時間/11:00~14:00 17:00~20:00
■定休日/毎週水曜日 ■収容人数/40人 P/有り

TEL.0175-64-8966

野辺地町字野辺地314-1



ご宿泊には

野辺地町旅館組合 会員旅館
各館をお気軽にご利用ください。

松山旅館

TEL.0175-64-4996

野辺地町字中小中野39-2

旅館コマイ

TEL.0175-64-3181

野辺地町字上小中野39-14

藤川旅館

TEL.0175-64-3544

野辺地町字鳴沢9-5

ビジネスイン倶楽部

TEL.0175-64-2181

野辺地町字野辺地166-1

むつ湾温泉

TEL.0175-64-2611

野辺地町字槻ノ木75-168

ビジネスランド豊楽

TEL.0175-64-6900

野辺地町字大月平32-6

まかど観光ホテル

TEL.0175-64-3131

野辺地町字湯沢9

松浦食堂

自家製つけ麺・茶販売しています。(茶粥、茶めし用)

■営業時間/11:00~19:30 ■定休日/毎週日曜日

■収容人数/28人(2F和室あり60人)

P/10台/大型バス可

TEL.0175-64-3004

野辺地町字上小中野39-7

ら〜めん処 中濱屋

お客様の笑顔を見たくて、「中濱屋」は元気に頑張ります。

■営業時間/11:00~15:00 17:00~20:00

土・日・祭日 11:00~20:00 ■定休日/毎週水曜日

■収容人数/24人 P/30台・大型可

TEL.0175-64-0501

野辺地町字松ノ木111-93

頑固ラーメン やまじゅう

頑固ラーメンと手作りジャンボギョーザがおすすめ！

■営業時間/11:00~14:30 16:30~20:00

■定休日/不定休

■収容人数/18人 P/10台

TEL.0175-64-1469

野辺地町字二十平93-5

ラーメン・餃子 ひろ美

比内地鶏まるごと1羽から取ったあっさりスープ。昔ながらの煮干しと昆布のラーメンをどうぞ。

■営業時間/11:00~14:00 17:00~22:00 ■定休日/

毎週日曜日(月曜17:00から) ■収容人数/12人 P/20台

TEL.0175-64-8009

野辺地町字助佐小路5-25 フロンティア会館1F

喫茶レストラン 舟宿

国道279号沿、海辺のレストラン。トンカツが自慢です。

■営業時間/11:00~20:00

■定休日/第2、4、5土曜日

■収容人数/28人 P/15台

TEL.0175-64-2987

野辺地町字干草橋67-7

cafe' R

Pizzaのテイクアウトが出来ます。

■営業時間/11:30~21:00 日・祝11:30~20:00

■定休日/毎週水曜日

■収容人数/15人 P/3台

TEL.0175-64-9245

野辺地町字田狭沢39-32

食事とコーヒー よこはま

タカラ温泉となりにあります。お風呂の後に、ポリュームのある食事をどうぞ。

■営業時間/平日12:00~20:00 土・日・祝11:00~

20:00 ■定休日/不定休 ■収容人数/19人 P/有り

TEL.0175-64-2065

野辺地町笹館72-2

Trattoria HIRO

シェフこだわりのイタリア料理。バラのアーチが目印。

■営業時間/ランチ 11:30~(ラストオーダー14:00)

ディナー 18:00~(ラストオーダー21:00)

■定休日/日・月曜日 ■収容人数/14人 P/有り

TEL.0175-73-7116

野辺地町田名部道18-22

GARDEN CAFE(ガーデンカフェ)

ほっと一息、癒し空間...

■営業時間/10:00~19:00 ■定休日/毎週日曜日

■収容人数/14人 P/3台

TEL.0175-64-2422

野辺地町字野辺地162-1

シャンテおおみなと

食事をしながらおいしいコーヒーを飲める喫茶店です。

■営業時間/9:00~17:00 ■定休日/第2日曜日

■収容人数/7人 P/4台

TEL.0175-64-1838

野辺地町字野辺地268-1

そば割烹 ながはま

自慢の手打ちそばや、ラーメン、定食がおすすめです。

■営業時間/11:00~14:00 17:00~22:00

■定休日/毎週月曜日

■収容人数/20名

TEL.0175-64-3729

野辺地町野辺地307

マルシメ斎藤海苔屋

野辺地産そば粉を主にした店主こだわりの10割そばをぜひご賞味ください。

■営業時間/平日11:00~14:00 夜は予約

■定休日/毎週月曜日 ■収容人数/30人 P/10台

TEL.0175-64-2345

野辺地町野辺地442

移動の際には

■十和田タクシー

TEL.0175-64-2221

■株式会社縦貫タクシー

TEL.0175-64-3151

■二北タクシー

TEL.0175-64-0101

■トヨタレンタリース青森 野辺地営業所

TEL.0175-64-0100

しばのや

新鮮な海の幸・山の幸で皆様を“おもてなし”！お待ちしております。

■営業時間/17:00~23:00

■定休日/不定休 ■収容人数/100人 P/30台

TEL.0175-64-4888

野辺地町字助佐小路1-4

ぶんぶく

近海の魚介類を使ったお料理と、てっかいみそ貝焼が自慢。

■営業時間/ランチ11:00~14:00 17:00~22:00

■定休日/不定休 ■収容人数/80人 P/5台

TEL.0175-64-0349

野辺地町字野辺地199-7

つたがみ

四季折々の旬の味覚をご家族や仲間とともに気軽に楽しめます。

■営業時間/17:00~22:00 ■定休日/不定休

■収容人数/30人 P/2台

TEL.0175-64-6589

野辺地町字野辺地14-12

丸定食堂

味自慢のやきとりと昔ながらのあっさり醤油ラーメンがおすすめ。

■営業時間/9:00~18:00 ■定休日/毎週日曜日

■収容人数/20人 P/2台

TEL.0175-64-3334

野辺地町字鳴沢8-4

お食事処 ふじ屋

国道4号線沿いにあり、たくさんのメニューの中から日替定食がおすすめ。

■営業時間/11:00~15:00 17:00~20:00

■定休日/第1・2・3月曜日 ■収容人数/30名 P/10台

TEL.0175-64-7008

野辺地町字一ノ渡37-5

居酒屋ダイニング まる。

旬の素材をつかった創作料理が自慢のダイニング居酒屋。

■営業時間/17:30~24:00(L.O 23:30)

■定休日/毎週日曜日 ■収容人数/25人 P/2台

TEL.0175-73-7183

野辺地町野辺地14-1

bloom

お野菜をたっぷり使用したランチとくつろげる空間で、皆さんをお待ちしています。

■営業時間/11:00~16:00

■定休日/毎週日曜日 ■収容人数/21人 P/5台

TEL.0175-73-7667

野辺地町字野辺地38-1 さくら2 1号室

大衆居酒屋 泰治

アットホームでゆっくりとくつろげる空間となっておりますので、日々の疲れを癒しにいらして下さい。

■営業時間/11:00~14:30、17:00~22:00

■定休日/毎週日曜日 ■収容人数/25人 P/3台

TEL.090-7331-4514

野辺地町野辺地29-1

※情報内容は、変更されることがあります。



めぐりどころ 歴史満喫おすすめスポット

① 本州最北にあるエドヒガン(町指定天然記念物)愛宕公園登り口



御膳水に向かって左側にそびえ立つ、樹齢300年を越えるエドヒガンは樹の高さ18m、幹の太さは、約5.3mで地表約50cmの所で二つに分かれています。エドヒガンは、日本の本州・四国・九州や韓国南部・中国中部に広く分布する桜の一品種ですが、北東北には数が少なく野辺地にエドヒガンがあるという事は植物学上極めて貴重です。

② 花鳥号銅像(町指定有形文化財)愛宕公園中腹



明治天皇はこの地に、2回ほど巡幸されました。最初の巡幸(明治9年)で、現在の役場境内にある行在所で倒れた御料馬花鳥号の冥福を祈り、愛宕公園中腹に銅像が建てられ、愛宕公園のシンボルとなっています。

③ 松尾芭蕉の句碑(町指定有形文化財)



愛宕公園北側中腹 文政12年(1829年)に芭蕉を慕う野辺地の俳人たちによって建てられた碑。「花ざかり 山は日ごろの 朝ぼらけ」の句は、芭蕉が貞享5年(1688年)に桜の名所吉野山で詠んだものです。



愛宕公園 5 F-3

町民憩いの場所愛宕公園、展望台からは町を一望できます。

④ 弁慶の足跡



源義経は平泉から逃れ、青森県外ヶ浜町(旧三厩村)から北海道に渡ったのでは?という伝説がありますが、野辺地町でも芭蕉の句碑の土台石にあるくぼみは弁慶の足跡(左足)だという言い伝えがあります。

⑤ 石川啄木の歌碑 愛宕公園北側中腹



「潮かをる 北の浜辺の 砂山の かの浜薔薇よ 今年も咲けるや」の歌碑が建ったのは1962年(昭和37年)5月4日です。野辺地にゆかりのある啄木を記念しここに建立されました。

一里塚(県史跡)



江戸日本橋を起点とし、三六町を一里として一里ごとに街道の両側に土を高く盛り、その上に樹木を植え、里程標としたものです。この一里塚は奥州街道上につくられたもので塚と塚の間には街道のあとが残されています。※一町は約109.09m。

16G-5

鳴子館坂



坂の上からは、町を一望できます。江戸時代には、この坂の下で幕府や藩の役人を出迎えたり、見送ったりしていたそうです。

17F-4

旧大万旅館



旧旅館であったこの建物は、明治33年(1900年)に建てられた和洋折衷の貴重な近代和風建築です。1988年にはフジテレビドラマ「飢餓海峡」の撮影場所として使用されました。なお、建物内の見学は不可となっています。

18F-2

野辺地代官所跡



城内(現中央公民館内)にありました。代官はおおむね盛岡直参の藩士が任命され任期は通常2カ年程度でした。元々の野辺地代官所の建築年代は明らかではありませんが、建物の配置図は残っています。

19E-3

西光寺のしだれ桜(町指定天然記念物)と北前船乗組員の墓 20 F-3



しだれ桜は西光寺本堂への参道左側にあります。樹木医によれば樹齢は300年を超えており毎年春には美しい花をつけその風情ある姿が人々に親しまれています。また、西光寺墓地には、北前船での航行の際、海難で死亡された人達や野辺地に滞在中に病死された人達の墓石があり、現在までの調査では13基確認されています。

石川啄木ゆかりの常光寺 21 F-3



常光寺の住職葛原対月は啄木の伯父にあたり、また啄木の父(一禎)・母(カツ)が一時、常光寺に身を寄せていたことから、啄木は3回常光寺を訪れています。※石川啄木(いしかわ たくぼく) 1886年(明治19年)2月20日~1912年(明治45年4月13日)は明治時代の歌人・詩人・評論家。本名は、石川一(はじめ)。

最上徳内の妻 ふでの生家 22 F-3



最上徳内(宝暦4年(1754年)~天保7年(1836年))は、江戸時代の探検家で江戸幕府普請役。出羽国村山軍橋岡村(現在の山形県村山市橋岡)出身です。徳内は、2回目の蝦夷地行きを松前藩に断られ、南部領野辺地に留まり2年間船頭新七の家で算術・読み書きを教えていました。その間に、廻船問屋を営む嶋屋清吉の娘(ふで)と結婚しました。徳内は82歳で亡くなるまで数々の著作を残しています。



6 中市絶壁の句碑 愛宕公園頂上



明治時代に県内初の活版印刷による俳句同人誌を刊行するなど野辺地は俳句の盛んな地でした。俳人中市絶壁(謙三)は民俗学研究、町史の編纂などの数々の業績を残されました。業績を称え昭和47年10月7日に野辺地市街地が一望できる愛宕公園に「傘さげてみ堂をめぐる夕嵐」句碑が建立されました。

7 戦没者の慰霊碑



愛宕公園、園路を登りきった頂上部分に戦没した当町出身者を慰霊する碑があります。向かって左は大東亜戦争戦没者、中央は日露戦争、右は日清戦争戦没者の各慰霊碑です。

8 御膳水と愛宕公園石段 愛宕公園登り口



古くから町民に親しまれてきた湧水。明治天皇巡幸の際には、調理用に使われたことから「御膳水」と呼ばれるようになりました。また、園内愛宕神社へと結ぶ階段はその昔、本町の道路に敷かれていた石を用いています。この石は、北前船で香川県小豆島の土庄町から搬出された花崗岩です。

水神宮



祭神は水波能売神で、浜町全体の氏神として崇敬されています。文化5年(1808年)のある夜のことで、高田屋嘉兵衛が夢枕に苦しげに恨めしそうに立つ水神の夢を見、それをきっかけに五十嵐彦兵衛に水神宮建立を依頼し、水が再び湧き出したという言い伝えがあります。また当時は北前船などの飲料水に利用され重要な水でした。

野辺地戦争戦死者の墓所(県史跡)



1868年(明治元年)、幕府軍を支持する盛岡藩・八戸藩の南部軍と新政府軍を指示した弘前藩・黒石藩の津軽軍が野辺地で交戦し、津軽軍は29名、南部軍は6名の兵士が戦死しました。墓石の4基には、戦死した津軽軍兵士27名の名前が刻まれています。

藩境塚(通称・四ツ森)(県史跡)



江戸時代に南部領と津軽領の境界の目印として旧奥州街道沿いに築かれた土盛り塚です。当時藩境には、番所が設けられ通行人や物資の出入りを取り締まっていた。塚の直径はおよそ10m、高さ3.5mほどで、南部・津軽それぞれ2基ずつあることから通称「四ツ森」と呼ばれています。

お問い合わせ / (一財)野辺地町観光協会 TEL.0175-64-9555
http://www.noheji-kankou.com/
野辺地町歴史民俗資料館 TEL.0175-64-9494

街かどに立つ標柱を 探してみよう!

四戸壮欣氏寄贈



御同心丁(御組丁)

26F-3

江戸時代、この一帯は盛岡藩の同心の屋敷15軒が道の両側に続いていたことから御同心丁あるいは御組丁と呼ばれていました。御同心丁をはさんで道は大きく折れていますが、北から攻撃されたとき、敵が町に一直線に侵入するのを防ぐためと思われます。

大砲台場跡

27E-2

大砲台場は、盛岡藩によって安政3年(1865年)に築造され、外国の船に備え大砲が置かれていました。現在の新道は、この工事のために作られた道路です。明治元年(1868年)の戊辰戦争のとき、野辺地を艦砲射撃した新政府軍の船(陽春丸)に対し、藩ではこの台場から反撃しています。新政府軍の砲撃は50~60発で常光寺の大杉や各所に着弾しましたがいずれも爆裂はしなかったといわれます。一方台場からは、17~18発発射し帆柱と船体中央に2発命中し、陽春丸は慌てて退散しました。

蔵町

28E-2

江戸時代、この一帯には盛岡藩の銅蔵や大豆蔵、野辺地の商人の土蔵や板蔵があったことから蔵町と呼ばれています。蔵に納められた大豆・鰯しめ粕、銅などの南部領内の産物は、北前船によって大坂や北陸などの日本海航路上の湊に運ばれていきました。

遠見番所跡

29E-2

江戸時代、この場所には盛岡藩によって設置された遠見番所がありました。江戸幕府は外国との通商を禁止していたことから外国船の出入りや通過を監視するために設けられた施設です。

馬門御番所跡

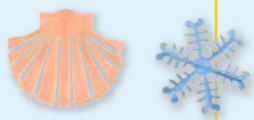
30B-1

御番所は、江戸時代に盛岡藩によって設置され、人々や物資の出入りを監視していました。建物は柵で厳重に囲われ役人が警護していました。この番所から西へ約2kmには南部領と津軽領との境界につくられた藩境塚があります。

移動の際には

■十和田タクシー TEL.0175-64-2221
■株式会社縦貫タクシー TEL.0175-64-3151
■二北タクシー TEL.0175-64-0101
■トヨタレンタリース青森 野辺地営業所 TEL.0175-64-0100

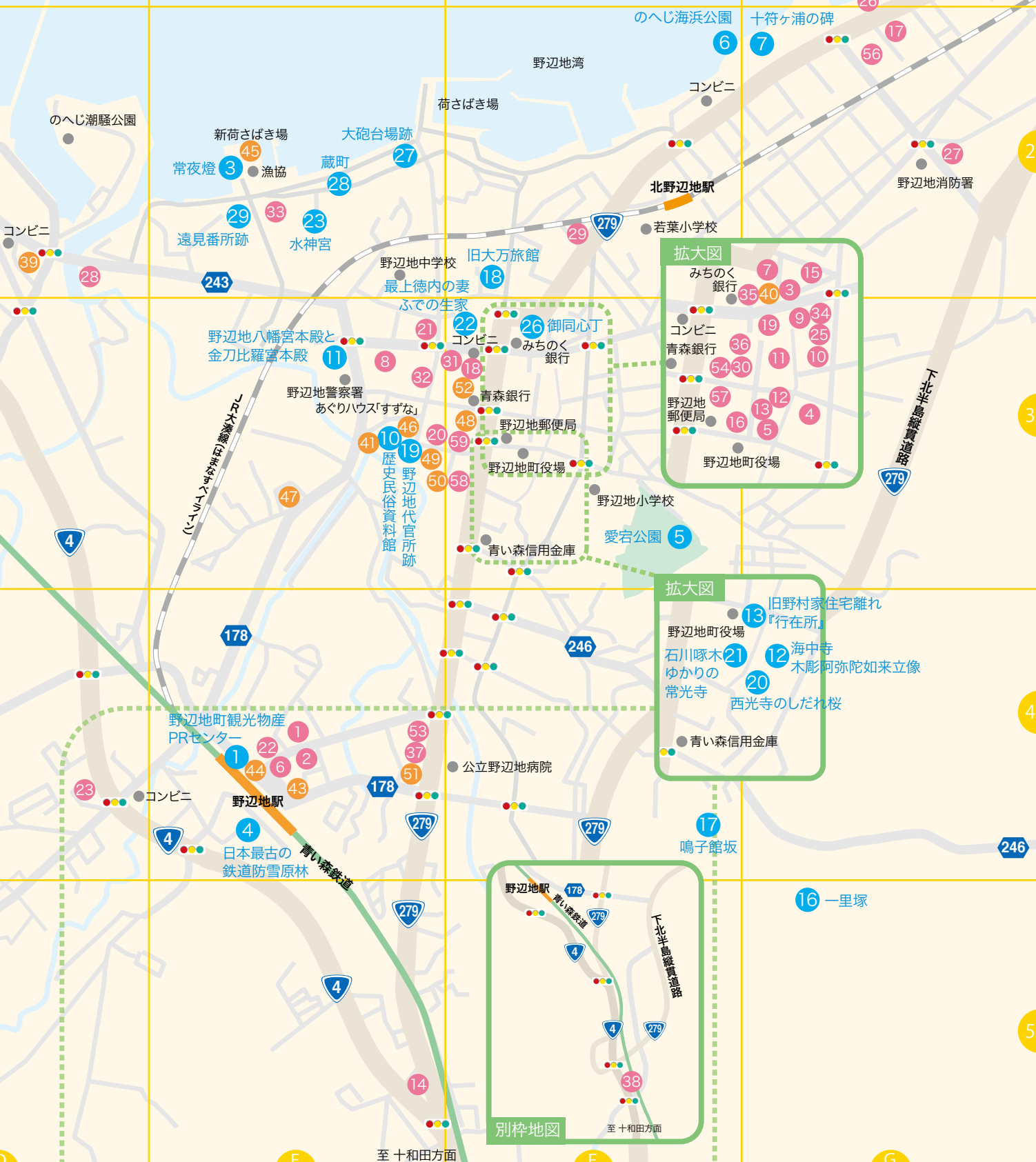




海も山も、めぐりどころが
いっぱいの野辺地町。
ぜひお楽しみください！



至 むつ下北方面



車で



東北自動車道 青森中央I.C・青森自動車道 青森東I.C・・・国道4号線(約1時間)
八戸自動車道 八戸I.C・・・国道45号線・4号線(約1時間・30分)
むつ方面・・・はまなすライン(国道279号線)

電車で



青森・・・青い森鉄道(約45分)
八戸・・・青い森鉄道(約45分)
むつ・・・JR大湊線(約50分)
東京・・・東北新幹線(3時間20分)・・・七戸十和田駅から車で約20分
函館・・・北海道新幹線(約1時間)・・・新青森駅青森・・・青い森鉄道(約45分)

飛行機で



東京/羽田(空路約75分)・・・青森空港・・・バス(約35分) 青森駅・・・野辺地
東京/羽田(空路約70分)・・・三沢空港・・・バス(約15分) 三沢駅・・・野辺地
大阪/伊丹(空路約95分)・・・青森空港
札幌/千歳(空路約45分)・・・青森空港

バスで



青森駅・・・下北交通バス(約1時間20分) 野辺地駅
むつ方面・・・下北交通バス(約1時間30分) 野辺地駅



のへ 人と、自然と、味めぐり。



<http://www.town.noheji.aomori.jp>

野辺地町役場(地域戦略課) 〒039-3131 青森県上北郡野辺地町字野辺地123番地1 TEL:0175-64-2111(代表) FAX:0175-64-7130